

ベーシック生物

責任者・コーディネーター	生物学科 松政 正俊 教授		
担当講座・学科(分野)	生物学科		
担 当 教 員	角井(蛭田)千鶴江 助教		
対 象 学 年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

生物基礎ないし生物I未履修者を対象とした生物学講義であり、医歯薬各分野の専門科目を無理なく受講できるようになるための基礎学力を養成する。各自が講義前に教科書の該当箇所に通し、重要語句を覚え、わからない部分をはっきりとさせておく必要がある。講義は教科書に沿って進めるが、適宜参考図書からも補足する。さらに講義では、学んだ内容を記述する時間も取り、知識の定着を図る。講義後は、興味がある点や理解が浅い点を調べ、再度教科書を読んで下記の目標を達成できるようにしてもらう。

・教育成果（アウトカム）

医歯薬各分野の専門的な知識を学ぶために必要な生物学の基礎知識を会得し、その知識を論理的に組み立てる訓練を通じて生物学各分野の関連性が理解できるようになる。また、予習、受講、復習のサイクルを通して、生物学を自分自身で学ぶことのできる習慣を身につける。そうすることで、専門科目を受講する際にその位置づけを理解し、自ら調べて学ぶことができるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 細胞の基本構造と細胞膜の性質について説明できる
2. 細胞小器官および細胞骨格を挙げ、それぞれの構造と機能を説明できる
3. 細胞周期の各期について理解し、細胞分裂の過程を説明できる
4. 組織、器官、器官系について理解し、各器官の働きを説明できる
5. 受精、初期発生および老化について説明できる
6. 生体を構成する物質を挙げ、その性質を説明できる
7. 酵素の性質および生体内における役割を説明できる
8. ATP の役割と働きについて説明できる
9. 呼吸に関わる代謝系について説明できる
10. 遺伝の仕組みについて説明できる
11. DNA、遺伝子、染色体、ゲノムの違いについて説明できる
12. 遺伝子の構造と機能について説明できる
13. DNA の複製とセントラルドグマの各過程について説明できる
14. 遺伝子の発現調節について説明できる
15. 体細胞分裂と減数分裂の意義、違いを説明できる
16. 遺伝子工学について基礎的事項を理解できる

17. 神経系、内分泌系を介するホメオスタシスについて説明できる
 18. 免疫系について説明できる

・ 講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	ガイダンスおよび C1*生命とは *使用教科書の章番号と対応している (以下同様)
4/22	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C2 細胞の構造 ①細胞の構造と機能
5/13	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C2 細胞の構造 ②細胞周期とその調節
5/20	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C3 多細胞動物の体 ①組織、器官、器官系
5/27	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C3 多細胞動物の体 ②受精と初期発生
6/3	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C4 生命体を構成している物質
6/10	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C5 体内における物質代謝
6/17	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C6 生命の設計図・遺伝子の複製と発現 ①遺伝
6/24	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C6 生命の設計図・遺伝子の複製と発現 ②遺伝子の本体・DNA の構造と複製
7/1	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C6 生命の設計図・遺伝子の複製と発現 ③遺伝子の発現(転写・翻訳)と発現調節
7/8	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C6 生命の設計図・遺伝子の複製と発現 ④減数分裂におけるゲノムの分配
7/15	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C6 生命の設計図・遺伝子の複製と発現 ⑤遺伝子工学
7/22	水	1	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C7 ホメオスタシス (恒常性)
7/22	水	2	生物学科	角井(蛭田)千鶴江 助教	C8 生体の防御・免疫系と疾患

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ZERO からの生命科学 改訂 4 版	木下勉 ほか	南山堂	2015
参	Essential 細胞生物学 原書第 3 版	Alberts ほか	南山堂	2011
参	ベーシック生物学	武村政春	裳華房	2014
参	ブルーバックス 新しい高校生物の教科書	柄内新 ほか	講談社	2006

・成績評価方法

試験 80%、授業態度 20%の配分とし、総点を 100 点として総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ビジュアルプレゼンター (XGA)	1	講義資料供覧
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット	1	講義資料供覧
講義	デスクトップパソコン (DELL OPTIPLEX 9020)	1	講義資料作成、他
講義	ノートパソコン (ASUS ZENBOOK UX31E-RY256)	1	講義資料作成、他
講義	複合機一式 (Canon・Image Runner iR2230F)	1	講義・実習等の資料印刷

アドバンスト生物

責任者・コーディネーター	生物学科 三枝 聖 講師		
担当講座・学科(分野)	生物学科		
担 当 教 員	三枝 聖 講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

アドバンスト生物は高等学校生物（生物基礎・生物，旧課程では生物Ⅰ・Ⅱ）履修者，および大学受験科目として生物を選択したなど，履修相当の知識を有する学生を対象とする医歯薬共通科目である。医歯薬分野において生物学の知識は必須である。高等学校生物では広汎な分野を扱っているものの，習得した知識は各学部科目の講義を理解するうえで必ずしも充分とは言い難い。本科目は，高等学校生物と各学部専門科目との関連や連続性に配慮しつつ，3学部に共通して必要と思われる項目を中心に学習する。これにより，高等学校生物で学習した内容を補充しつつ，医療系大学学生に必要と思われる生物学・生命科学の基礎的内容を学習し，専門科目の導入部に相当する基礎知識を習得する。

・教育成果（アウトカム）

細胞生物学・分子生物学の基礎的事項のなかから，序盤に細胞の構造・細胞小器官について高等学校生物を復習しつつ，細胞膜を介した物質輸送（選択的透過性）を中心に，細胞膜の構造・機能についての知識を会得する。中盤には遺伝の根幹である細胞分裂・細胞周期について概説したのち，染色体・遺伝子・セントラルドグマ・遺伝子発現についての知識を段階的に会得する。終盤には免疫（非特異的生体防御・特異的防御）の概要についての知識を会得する。講義全体を通じて，高等学校生物の内容を再確認・整理しながら，各学部専門科目で扱う内容との差を理解し，専門科目に円滑に移行できる知識量を修得する。

・到達目標（SBO）

1. ウイルス・原核細胞・真核細胞の共通点・相違点を理解できる
2. 細胞小器官を挙げ，それぞれの機能を概説できる
3. 細胞膜の構成成分を列挙し，それらが構築する基本構造を説明できる
4. 細胞膜を介した物質輸送を分類し，説明できる
5. 細胞周期の各期について理解し，細胞分裂の過程を説明できる
6. ヒトの核型分析について基礎的事項を理解できる
7. ヒトの遺伝子について概説し，セントラルドグマの各過程を説明できる
8. 遺伝子発現調節について概説できる
9. 遺伝子増幅技術を挙げ，方法・原理を説明できる
10. 非特異的生体防御と特異的生体防御機構を分類し，概説できる

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	細胞：生命の最小単位 ウイルス・原核生物・真核生物を比較することにより「細胞」とは何か定義する。代表的なオルガネラを挙げ、機能を理解する。
4/23	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	細胞膜の構造 細胞膜の成分を概説し、細胞膜構造の特徴（流動モザイクモデル）を理解する。
4/30	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	細胞膜の機能 細胞膜を介した物質輸送を分類し、選択的透過性について理解する。
5/7	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	細胞周期と細胞分裂 細胞周期各期について列挙し、チェックポイントによる監視、サイクリンや Cdk による調節を学習する。
5/14	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	染色体と核型分析 染色体の特徴点（動原体・テロメアなど）を確認し、ヒト正常核型と遺伝子座について理解する。染色体異常による疾患の代表例を学習する。
5/21	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子の構造 核酸に共通する構造（ヌクレオチド）について学習し、ヒトゲノムの概略を理解する。
5/28	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	DNA の複製 DNA 複製に関わる酵素とそのはたらきを学習し、半保存的複製がどのようになされるか理解する。ラギング鎖の不連続複製やテロメア DNA の複製について学習する。
6/4	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	セントラルドグマ 1：転写 真核生物における転写の過程について概説し、スプライシングを経て完成した mRNA の構造（キャップ構造, ORF, ポリ A 尾部）を学習する。
6/11	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	セントラルドグマ 2：翻訳 アミノアシル tRNA, リボソーム, 翻訳因子 (IF, EF, RF) を概説し、真核生物における翻訳の過程を網羅的に理解する。
6/18	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子発現の調節 遺伝子発現について概説し、遺伝子発現調節機構として転写調節, 遺伝子量補償としてエピジェネティクスについて学習する。
6/25	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子工学の基礎 DNA 増幅技術として遺伝子クローニングおよび PCR について比較し、それぞれの利点・応用について理解する。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
7/2	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	生体防御・免疫 非特異的生体防御について列挙し、概説する。免疫担当細胞の種類を学習し、それぞれの特徴や機能を理解する。
7/9	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	細胞性免疫・体液性免疫 細胞性免疫と細胞性免疫の過程を概説し、リンパ球の分化とMHCについて理解する。
7/16	木	1	生物学科	三枝 聖 講師	免疫と疾患 アレルギー、自己免疫疾患、がん、後天性免疫不全症候群について細胞性免疫および体液性免疫との関連を学習する。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ZERO からの生命科学改訂 4 版	木下 勉 他	南山堂	2015
参	Essential 細胞生物学原著第 3 版	Alberts 他	南江堂	2011
参	レーヴンジョンソン生物学原著第 7 版 [上]	Raven 他	培風館	2006
参	レーヴンジョンソン生物学原著第 7 版 [下]	Raven 他	培風館	2007

・成績評価方法

試験 80%，受講態度 20%の配分とし、総点を 100 点として総合的に評価する

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ビジュアルプレゼンター (XGA)	1	講義資料供覧
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット	1	講義資料供覧
講義	デスクトップパソコン (EPSON・AY311S)	1	講義資料作成、他
講義	ノートパソコン (Mac Mini MC270J/A)	1	講義資料作成、他
講義	複合機一式 (Canon・Image Runner iR2230F)	1	講義・実習等の資料印刷

自然・文化人類学

責任者・コーディネーター	生物学科 松政 正俊 教授		
担当講座・学科(分野)	生物学科、医学教育学講座、法医学講座、教養教育センター		
担当教員	松政 正俊 教授、佐藤 洋一 教授、出羽 厚二 教授、安達 登 非常勤講師(山梨大学教授)、松前もゆる 非常勤講師(盛岡大学准教授)		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

大学初年次には、多様な現象、ものの見方、考え方を知ることが肝要である。人類学は人類に関する総合的な学問領域であり、「ヒト」を自然科学的な視点から考える自然人類学、ならびに「人間」の文化的・社会的側面を考える文化人類学・社会人類学を内包する。これらの各領域に関する知見が同一の科目で扱われることは少ないが、ヒト・人間を対象とする医療系学生が両者について学ぶことは意義あることと思われる。本科目では、自然人類学の諸側面および文化人類学の初歩を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

ヒトの特徴を、比較生物学、解剖学、遺伝学、そして自然人類学的視点から捉え、解説する講義を聞き、次いで文化人類学の初歩として、文化・社会と人間の生活、性、病気等との関連を学ぶ。これらにより、生物としての「ヒト」と独自の文化をもつ「人間」についての理解が深まり、医療人に要求される多様なものの見方が身につく。

・到達目標（SBO）

1. 自然人類学とは、どのような学問領域か説明できる。
2. 自然人類学と生物学との関係を概説できる。
3. 人骨の特徴から人類をながめて分類するという方法を知り、その妥当性について考察できる。
4. DNA 多型性とは何か説明できる。
5. Y 染色体 DNA とミトコンドリア DNA の特異性を説明できる。
6. 文化人類学とは、どのような学問領域か説明できる。文化人類学における「文化」の意味を概説できる。
7. 身の回りの分類や分割と文化・社会との関わりを概説できる。
8. 通過儀礼とは何か、その特徴や意味を説明できる。
9. 「子ども」と「大人」という区分と、文化や社会との関わりを概説できる。
10. 性別と文化・社会との関わりを理解し、概説できる。
11. 性別分業の多様性と時代による変化を理解し、概説できる。
12. 身体と文化・社会が関わる側面（身体技法や身体観）について概説できる。
13. 「病気」や「障害」のとらえ方と文化・社会との関わりを概説できる。
14. 医療と人類学の知見の関わる場所を知り、概説できる。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	水	2	生物学科	松政 正俊 教授	人類学と生物学
4/22	水	2	医学教育学講座 生物学科	佐藤 洋一 教授 松政 正俊 教授	骨から見た人類 骨標本をもとに、人種を分けていた古典的な形態人類学を紹介するとともに、疾病が骨組織に与えた影響から、当時の文明を考察する。
5/13	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	文化人類学とは
5/20	水	2	法医学講座 生物学科	出羽 厚二 教授 松政 正俊 教授	DNA 多型とは? Y 染色体 DNA 多型からみた人類学
5/27	水	2	法医学講座 生物学科	安達 登 非常勤講師 出羽 厚二 教授 松政 正俊 教授	ミトコンドリア DNA 多型からみた人類学
6/3	水	2	生物学科	出羽 厚二 教授 松政 正俊 教授	人類と病気 (直立 2 足歩行がもたらしたものの)
6/10	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	分類と文化・社会
6/17	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	人生と通過儀礼
6/24	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	「子ども」と「大人」(人生と通過儀礼Ⅱ)
7/1	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	「男」と「女」(性別をとらえなおす)
7/8	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	性別分業の多様性
7/15	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	身体と文化・社会
7/22	水	1	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	「病気」「健康」と文化・社会
7/22	水	2	生物学科	松前もゆる 非常勤講師 松政 正俊 教授	医療と人類学

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	精神と自然—生きた世界の認識論 改訂版	グレゴリー・ベイトソン (佐藤良明 訳)	新思索社	2001
参	精神の生態学 改訂第2版	グレゴリー・ベイトソン (佐藤良明 訳)	新思索社	2001
参	文化人類学 (第3版)	波平恵美子編	医学書院	2011
参	みんなが手話で話した島	ノーラ・エレングロース (佐野正信訳)	築地書館	1991
参	文化としての生殖技術—不妊治療にたずさわる医師の語り	柘植あづみ	松籟社	1999
参	進化医学—人への進化が生んだ疾患	井村裕夫	羊土社	2013
推	隠喩としての病い エイズとその隠喩	スーザン・ソントグ (富山太佳夫訳)	みすず書房	2012
推	アダムのかい	ブライアン・サイクス (大野昌子訳)	ヴィレッジブックス	2006
推	イブの7人の娘たち	ブライアン・サイクス (大野昌子訳)	ヴィレッジブックス	2006

・成績評価方法

レスポンスカード（90%程度）と受講態度（10%程度）により総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、参考書等・レジメを用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン (Mac Mini MC270J/A)	1	講義資料作成・保管、他
講義	複合機一式 (Canon・Image Runner iR2230F)	1	講義・実習等の資料印刷

ベーシック化学

責任者・コーディネーター	化学科 中島 理 准教授		
担当講座・学科(分野)	化学科		
担 当 教 員	中島 理 准教授		
対 象 学 年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・ 学習方針（講義概要等）

高等学校「化学基礎・化学」の内容を対象にした、リメディアル教育として開講する講義である。後期に開講される化学系教科目、並びに2年次以降の医・歯・薬学の専門科目を修得する上で必須となる、化学的知識を確実に身に付けると同時に、化学的なものの見方ができるようになる下地を作る。講義では、物質の構成粒子（原子、分子、イオン）、物質量、周期律、代表的元素の特徴、化学結合、化学反応、酸と塩基、酸化と還元、無機物質および有機物質などについて解説する。

・ 成績成果（アウトカム）

化学は物質の構造、性質、変化等を直接取り扱う学問である。本講義では化学の基本的な概念、原理、法則等を会得することにより、物質の化学的性質を修得することができる。

・ 到達目標（SBO）

1. 原子の構造と、原子からイオンができる仕組みについて説明できる。
2. 化学変化を化学反応式で表現できる。
3. 物質量の概念を理解し、化学反応式を使用した化学計算ができる。
4. 化学結合の種類と、その相違点について説明できる。
5. 熱化学方程式を作り、種々の反応熱について説明できる。
6. 化学平衡の状態について説明できる。
7. 酸・塩基の定義について説明できる。
8. 酸化・還元概念について説明できる。
9. 典型元素および遷移元素の基本的な性質について説明できる
10. 基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 東 204 2-C 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	化学科	中島 理 准教授	序論： 化学の歴史と化学を学習する意義

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/23	木	1	化学科	中島 理 准教授	物質の構成： 原子・イオン・分子
4/30	木	1	化学科	中島 理 准教授	物理量と物質質量： 原子量・分子量・溶液の濃度
5/7	木	1	化学科	中島 理 准教授	化学反応と化学量論
5/14	木	1	化学科	中島 理 准教授	原子の電子配置： 電子配置・周期律・周期表
5/21	木	1	化学科	中島 理 准教授	化学結合： 電気陰性度・イオン結合・共有結合
5/28	木	1	化学科	中島 理 准教授	化学結合： 配位結合・金属結合・水素結合
6/4	木	1	化学科	中島 理 准教授	熱化学方程式と化学平衡： 反応熱・反応速度
6/11	木	1	化学科	中島 理 准教授	酸・塩基と電離平衡： 酸と塩基の性質[I]
6/18	木	1	化学科	中島 理 准教授	酸・塩基と電離平衡： 酸と塩基の性質[II]・水素イオン指数(pH)
6/25	木	1	化学科	中島 理 准教授	酸・塩基と電離平衡： 中和反応・緩衝溶液
7/2	木	1	化学科	中島 理 准教授	酸化還元反応： 酸化と還元・酸化数
7/9	木	1	化学科	中島 理 准教授	無機化合物： 典型元素と遷移元素
7/16	木	1	化学科	中島 理 准教授	有機化合物： 分類・構造・性質

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	大学化学への入門—演習問題を中心に—	野村浩康 他	学術図書出版	2006
推	新しい高校化学の教科書	左巻健男	講談社	2006

・ 成績評価方法

定期試験の結果および講義の受講態度などにより総合的に評価する。

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (HP) HP mini 5010 Notebook	1	講義資料作成
講義	資料提示装置 (エルモ) P30A	1	講義資料の提示
講義	資料提示装置 (エルモ) P30S	1	講義資料の提示
講義	複写機 (Canon) image RUNNER iR3225F	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (HP・Mini5103)	1	講義資料作成、他
講義	デスクトップパソコン (HP・6200ProSF/CT)	2	講義資料作成、他
講義	シュレッダー (明光商会・V-226C)	1	資料廃棄等

アドバンスト化学

責任者・コーディネーター	化学科 東尾 浩典 講師		
担当講座・学科(分野)	化学科		
担 当 教 員	東尾 浩典 講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

高校化学を全範囲履修してきた学生を対象とする 3 学部合同科目である。高校レベルの化学的知識の簡単な復習を出発点として、大学教養レベルの発展的内容までを、化学と生命との関わりに言及する中で学んでいく。本科目では、化学的知識の提供にとどまらず、医療系大学での学びにおける化学的素養の重要性を喚起することも目的としている。

・教育成果（アウトカム）

化学と生命との関わりに言及しつつ高校～大学教養レベルの化学的知識を固めることで、後期開講科目「基礎化学」および薬学部専門科目(化学系・生物系)の理解が促進される。

・到達目標（SBO）

1. 生元素を挙げ、その存在様式と役割を概説できる。
2. 原子の構造および化学結合について概説できる。
3. 分子間相互作用とその生命現象への関わりを説明できる。
4. 溶媒としての水の性質を説明できる。
5. 水溶液の溶質濃度を正しく表すことができる。
6. 沸点上昇、凝固点降下、浸透が起こる理由を説明できる。
7. 細胞における浸透現象を説明し、基本的な医療用等張液を挙げることができる。
8. 酸、塩基、pH の定義を説明できる。
9. 弱酸、弱塩基、緩衝溶液の pH を正しく表すことができる。
10. 生体液の緩衝作用について例を挙げて説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	化学と生命、生元素
4/22	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	原子の構造
5/13	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	電子軌道と電子配置
5/20	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	元素の周期的性質
5/27	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	化学結合：イオン結合、共有結合
6/3	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	化学結合：混成軌道
6/10	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	化学結合：分子の形、極性、分子間相互作用
6/17	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	化学結合：分子間相互作用と生命
6/24	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	水溶液：水の構造と性質、物質の溶解
7/1	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	水溶液：沸点上昇、凝固点降下、浸透
7/8	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	水溶液：細胞での浸透現象、生体液の浸透圧
7/15	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	電解質水溶液：酸・塩基、pH、化学平衡
7/22	水	1	化 学 科	東尾 浩典 講師	電解質水溶液：電離平衡と pH、緩衝溶液
7/22	水	2	化 学 科	東尾 浩典 講師	電解質水溶液：生体液の pH と緩衝作用

・ 教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	バイオサイエンス化学(生命から学ぶ化学の基礎)	新井孝夫 他	東京化学同人	2003
参	生命科学系のための基礎化学	Fry 他	東京化学同人	2009

・ 成績評価方法

定期試験(75%)、レポート(25%)により評価する。

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・ 予習復習ポイント

ベーシック化学履修者も本科目を選択履修することが可能です。
ただし本科目では高校化学全範囲の履修を前提としているため、講義についていくための自助努力が不可欠となります（自助努力に関する相談にはいつでものります）。

[本科目の予習のポイント]

- ・ 化学の実力に不安のある人は、高校化学（化学基礎・化学）の教科書・参考書の当該箇所の読み込み
- ・ 化学が得意な人は、教科書(バイオサイエンス化学)の当該箇所の読み込み

[本科目の復習のポイント]

- ・ 講義で扱った教科書の図と講義中にとったノートを読み返し、分かったこと、分からなかったことを明確にする。
- ・ 分からなかったことや疑問に思ったことを、高校化学の教科書・参考書、あるいは図書館の参考書で調べる。
- ・ それでも疑問が解決しない場合には、放っておかず、担当教員へ質問する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	資料提示装置（エルモ）P30A	1	講義資料の提示
講義	複写機（Canon）image RUNNER iR3225F	1	講義資料作成
講義	シュレッダー（明光商会・V-226C）	1	資料廃棄等

力学と電磁気学

責任者・コーディネーター	物理学科 佐藤 英一 教授		
担当講座・学科(分野)	物理学科		
担当教員	佐藤 英一 教授、小松 真 講師、小田 泰行 助教、寒河江 康朗 助教		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

力学と電磁気学では、特に重要な定理を中心に、徹底的に復習する。たとえば、我々の身の回りにおける簡単な物理現象を定性的そして定量的に考え、式として表わすことを目的としている。次いで、物理学において頻回に用いる単位、記号、数学の公式なども学びながら、平易な演習問題を解くことにより、物理学に関する最低限の知識を習得する。

・教育成果（アウトカム）

力学と電磁気学に的を絞り、その中から特に重要な運動の法則やオームの法則などを徹底的に復習することにより、初歩の物理学が理解できるようになる。物理学で用いる簡単な算術、特に変数分離型微分方程式の解き方についても会得する。また、身の回りにおける現象を物理学的に平易な表現で記述することにより、理系文書の作成能力が向上するようになる。

・到達目標（SBO）

- 1.等加速度直線運動を説明できる。
- 2.放物運動における軌道方程式を導くことができる。
- 3.力学的エネルギー保存則を説明できる。
- 4.ベルヌーイの定理を説明できる。
- 5.オームの法則を用いて電圧、電流、抵抗などの値を計算できる。
- 6.電流と磁場の関係を説明できる。
- 7.交流回路とインピーダンスを説明できる。
- 8.物理現象を記述することができる。

・講義日程

(矢) 西 105 1-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	2	物理学科	寒河江 康朗 助教 小田 泰行 助教	速度と加速度、運動方程式
4/23	木	2	物理学科	寒河江 康朗 助教 小田 泰行 助教	自由落下、投げ下げ、投げ上げ

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/30	木	2	物理学科	小田 泰行 助教	放物運動、力学的エネルギー保存則
5/7	木	2	物理学科	小松 真 講師	万有引力の法則、重力
5/14	木	2	物理学科	小松 真 講師	浮力・水中の圧力
5/21	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	力学的な現象の表現
5/28	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	力学のまとめ
6/4	木	2	物理学科	寒河江 康朗 助教 小田 泰行 助教	簡単な直流回路とオームの法則
6/11	木	2	物理学科	小田 泰行 助教	抵抗の連結、ジュール熱
6/18	木	2	物理学科	小田 泰行 助教	コンデンサーの原理、電気量、電気容量
6/25	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	電流の作る磁場
7/2	木	2	物理学科	小田 泰行 助教	簡単な交流回路とインピーダンス
7/9	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	電磁気学的な現象の表現
7/16	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	電磁気学のまとめ

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医歯系の物理学	赤野松太郎、他	東京教学社	1987

・成績評価方法

計2回の試験を行い、その平均点を評点とする。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			

ベーシック物理

責任者・コーディネーター	物理学科 佐藤 英一 教授		
担当講座・学科(分野)	物理学科		
担当教員	佐藤 英一 教授、寒河江 康朗 助教、小田 泰行 助教		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

近年、学生の理工学系離れが進み、物理学の学力低下は著しい。しかし、医歯薬系の業務には物理学に関連する知識が必要であることは言うまでもない。たとえばX線の発見は、人体の透視という医療において革命的な診断法をもたらした。このような医療の進歩は科学技術の発展に依拠しており、これら技術のほとんどの原理は物理学に基づいている。このベーシック物理では高等学校の補正教育を主目的とし、物理学の基本概念を修得する。

・教育成果（アウトカム）

初歩の力学、熱力学、電磁気学、そして初等量子力学などを平易な式を用いて表し、簡単な原理図を描くことにより、基礎的な物理学の知識が得られるようになる。また医歯薬に関わる例を数多く学ぶことにより、物理学に対する興味が深まるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 距離、速度、加速度の関係を式で表し、説明できる。
2. 質点系の運動を式で表現し、概説できる。
3. 力学的エネルギーを式で表現し、説明できる。
4. 簡単な流体力学を式を用いて説明できる。
5. 熱力学の諸法則を式を用いて表し、解説できる。
6. 簡単な直流回路を図示し、電圧、電流、抵抗、コンダクタンスなどの値を計算できる。
7. 簡単な交流回路を図示し、インピーダンス値などを計算できる。
8. 光電効果などの初等量子力学を解説できる。

・講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	物理量と基本単位
4/23	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	速度と加速度
4/30	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	力と仕事
5/7	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	等速円運動と単振動
5/14	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	力学的エネルギー保存則と摩擦

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/21	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	連続の式とベルヌーイの定理
5/28	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	前半のまとめ
6/4	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	ボイル、シャルル、ボイル・シャルルの法則
6/11	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	直流回路とオームの法則
6/18	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	抵抗の連結とキルヒホッフの法則
6/25	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	コンデンサーの原理、電気量、電気容量、電気エネルギー
7/2	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	交流回路とインピーダンス
7/9	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	光子、原子と電子、放射線
7/16	木	2	物理学科	佐藤 英一 教授	後半のまとめ

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医歯系の物理学	赤野松太郎, 他	東京教学社	1987

・成績評価方法

期末試験を含めて計2回の試験を行い、その平均点を評点とする。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (Dell・Power Edge T105)	1	講義・実習資料作成、他
講義	パソコン (Dell・531S)	1	講義・実習資料作成、他
講義	パソコン (Dell・Vostro 3300)	1	講義・実習資料作成、他
講義	パソコン (HP・ML115)	1	講義・実習資料作成、他
講義	ノートパソコン (東芝・PT35034BSFB)	1	講義・実習資料作成、他

基礎数学演習

責任者・コーディネーター	情報科学科数学分野 江尻 正一 教授		
担当講座・学科(分野)	情報科学科数学分野		
担当教員	江尻 正一 教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

本講義は、必修科目「基礎数学」を理解する上で、前段階として必要と考えられる数学の基本的知識を深めて、その活用能力を高めるために設置された。それゆえ、本講義は比較的、基本知識が少ない学生もしくは活用能力が弱い学生を対象とする。本講義においては、個々の受講生が「基礎数学」につながる多くの問題を演習として取り組むため、自主的で積極的な授業参加を必要とする。

・教育成果（アウトカム）

大学数学を理解する上での基本的な数学の知識、抽象的概念、論理的思考や能力を最低限、身に付ける。「基礎数学」関連の問題演習をより多く取り組むことによって、単なる天下りの知識の記憶蓄積や固定化を防いで、抽象理解、論理的思考等を高め、将来への数学活用能力を会得する。

・到達目標（SB0）

1. 数と数値の概念を説明でき、表現および計算ができる。
2. 数、数式、数列および関数の概念を理解できる。
3. 指数関数、対数関数および三角関数を式およびグラフを用いて説明できる。
4. 極限の基本概念を概説できる。
5. 基本的な関数の微分ができる。

・講義日程

(矢) 東 206 2-D 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(1)数と式
4/23	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(2)数列
4/30	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(3)関数
5/7	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(4)1次・2次関数
5/14	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(5)指数・対数関数

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/21	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(6)三角・逆三角関数
5/28	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(7)双曲線・逆双曲線関数
6/4	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	数列と関数(8)総合問題
6/11	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(1)数列の極限
6/18	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(2)関数の極限
6/25	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(3)微分係数と導関数
7/2	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(4)微分法の公式
7/9	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(5)高次導関数
7/16	木	2	数 学 分 野	江尻 正一 教授	微分法(6)総合問題

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	やさしく学べる薬学系のための微分積分	福田博	ムイスリ出版	2007
参	詳解 微分積分演習 I	福田安蔵 他	共立出版	1960
参	詳解 微分積分演習 II	福田安蔵 他	共立出版	1963
推	解析入門	S.ラング	岩波書店	1978

・成績評価方法

大凡、予習復習等も含めて積極的な受講態度・姿勢を 50%、課題レポート提出状況・期末試験の成績を 50%で総合的に評価する。

・予習復習のポイント

【参照】「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成 25 年度改訂版）-薬学準備教育ガイドライン（例示）」

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			

文学の世界

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野		
担当教員	平林 香織 教授、三浦 康宏 助教		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

時間を超越した美しい文学は、人生のモデルともなり、人々の生きる指標やこころの差さえともなる。生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、驚きと喜びなど、文学に表現されたテーマは実にさまざまであり、その表現方法も千差万別である。本講義では岩手県の文学、とりわけ石川啄木の短歌を取り上げ、その表現方法の深さと豊かさを理解し、生涯の宝となりうる文学的教養の世界への扉を開く。生きるとは自分の人生の歌を歌うことであり、他者を理解することは、他者の人生の歌に耳を傾けることである。歌ことばの理解を通して、医療人に必要な病者の歌を聴き想像力と治癒のプロセスを語る創造力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力を理解し、文学における非日常的なことばが持つイメージ喚起力について体感できるようになる。実践的な読解能力を身につけるとともに、作品について自分のことばで考える力が身につく。文学の世界を理解するために、映画、漫画、アニメーション、能楽、歌舞伎といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。附属図書館や公共図書館を利用して多くの文学に触れる。生涯にわたり文学を通じて人生のさまざまな側面について学ぶ習慣を身につける。

・到達目標（SBO）

1. さまざまなジャンルの文学に触れ、作者の生き方や作品について理解できる。
2. すぐれた作品に接し、それを読み味わう能力を高める。
3. 様々な価値観・考え方に触れ、それを参考にしながら、広い視野と深い洞察力を身につける。
4. 文学の近接ジャンルにも興味を持ち、幅広い問題意識を養い育てる。
5. 読書の習慣を身につける。

・講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	水	2	文学分野	平林 香織 教授	歌について一万葉集から J-POP まで
4/22	水	2	文学分野	平林 香織 教授	歌留多形式の可能性—百人一首からいろはがるたまで
5/13	水	2	文学分野	平林 香織 教授	イメージする脳—絵と文字

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/20	水	2	文学分野	平林 香織 教授	韻律のトポス—スパークする長句(五七五)と短句(七七)
5/27	水	2	文学分野	平林 香織 教授	歌と季題—盛岡の自然と短歌
6/3	水	2	文学分野	平林 香織 教授	短歌でたどる石川啄木の一生
6/10	水	2	文学分野	平林 香織 教授	ふるさとの文学—啄木と盛岡
6/17	水	2	文学分野	平林 香織 教授	仰ぎ見る山—啄木と岩手山
6/24	水	2	文学分野	平林 香織 教授	さまざまな愛のかたち—啄木が愛した人々
7/1	水	2	文学分野	平林 香織 教授	人生の意味—啄木の苦悩
7/8	水	2	文学分野	平林 香織 教授	人と自然—啄木が詠んだ動植物
7/15	水	2	文学分野	平林 香織 教授	かなしみとは何か—啄木の悲哀
7/22	水	1	文学分野	平林 香織 教授	啄木の生きた時代—自由を求めて
7/22	水	2	文学分野	平林 香織 教授	啄木を取り巻く人々—盛岡の先人たち

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	啄木かるた	吉田光彦	奥野かるた店	2009

・成績評価方法

受講態度（20%）、課題への取組（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVD (BR) プレーヤー	1	教材の提示
講義	デスクトップパソコン(DELL Precision T3500 カスタマイズ)	1	講義資料作成、プレゼン他

医療と物語

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野、緩和医療学科、災害医学講座、睡眠医療学科		
担当教員	平林 香織 教授、木村 祐輔 特任教授、眞瀬 智彦 特命教授、櫻井 滋 教授、三浦 康宏 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医学と医療との違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療現場では、細胞や組織、臓器が病に侵されたときにどのように変化したかをみきわめる病理診断によって治療が行われる一方で、臨床疫学的な見地と個々の症例を結びつけたエビデンス・ベースト・メディスン（EBM 科学的根拠に基づく医療）と医療面接において病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法をさぐるナラティブ・メディスン（物語と対話に基づく医療）の両面から病を考えることが行われている。人はさまざまな要因によって病に陥る。本講義では文学の物語享受の有り方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するため基本姿勢を学修する。とりわけ「死」をテーマにする文学作品を理解することによって、生きることと死ぬことの意味を自分に問いかける。

・教育成果（アウトカム）

文学がときに病と密接にかかわりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病の物語、医療者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病の現実を受容するアプローチの可能性を理解する。臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。

・到達目標（SBO）

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 物語とは何かということの説明することができる。
3. 事実にもとづく報告と、真実を語るための物語の違いについて理解することができる。
4. 臨床現場における病と治癒を媒介する物語的側面について目を向けることができる。
5. 多くの物語を未読することによって死と生についてより深く思いをいたす。

・ 講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	文学分野	平林 香織 教授	かぐや姫の物語—ナラティブメディスンを考える—
4/23	木	1	文学分野	平林 香織 教授	「死ぬな」と言う勇氣—与謝野晶子の非戦詩
4/30	木	1	文学分野	平林 香織 教授	象徴力—北原白秋の糖尿病と赤い鳥
5/7	木	1	文学分野	平林 香織 教授	死と再生—漱石における創造的病い
5/14	木	1	文学分野	平林 香織 教授 木村 祐輔 特任教授	治療の物語—臨床における緩和ケア—
5/21	木	1	文学分野	平林 香織 教授	エロスとタナトス—中原中也における依存の物語
5/28	木	1	文学分野	平林 香織 教授	兄弟姉妹の物語—宮澤賢治と宮澤トシ
6/4	木	1	文学分野	平林 香織 教授 櫻井 滋 教授	眠りと病の物語—行動睡眠医学の立場から
6/11	木	1	文学分野	平林 香織 教授	死と自己犠牲—『銀河鉄道の夜』におけるほんとうの幸い
6/18	木	1	文学分野	平林 香織 教授 眞瀬 智彦 特命教授	災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動
6/25	木	1	文学分野	平林 香織 教授	遠野物語の世界—河童淵、座敷童子、そして、津波
7/2	木	1	文学分野	平林 香織 教授 三浦 康宏 助教	神話における治癒の物語—大国主命の再生医療
7/9	木	1	文学分野	平林 香織 教授	火の祈り—高村光太郎と統合失調症
7/16	木	1	文学分野	平林 香織 教授	義理のために死を致す—太宰治と精神医学

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医療人のための文学	平林香織	川口印刷	2012
参	ナラエビ医療学講座	齋藤清二	北大路書房	2011

・成績評価方法

受講態度（20%）、課題への取組（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示

医療とコミュニケーション（前期）

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野、神経科学講座		
担当教員	平林 香織 教授、駒野 宏人 教授、平野 順子 非常勤講師、久保田 美恵子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医療人にとって必要な情報伝達の数々について学ぶ。あらゆるコミュニケーションのベースとなる「みること」「きくこと」の多様性について知り、障がいを持った人々との情報交換の有り方も含め医療現場で必要なコミュニケーションの種類とその心構えについて理解できるようにする。情報を集め、それを分類・理解してしっかりと受け止め、そして、正しく発信するための基本的なことがらを学習する。論理的にわかりやすい表現で自分の考えを伝えるための技術を修得する。また、上級学年において医療面接の手法を学んでいくための準備として、コーチングという対話の仕方について理解を深める。さらに、脳の情報伝達経路と筋肉反射の関係を体感するためのエクササイズを行う。

・教育成果（アウトカム）

コミュニケーションの多様性と可能性の実態に関する講義内容を整理し、医療人にとって必要なコミュニケーションの種類とそれぞれのコミュニケーションの仕方の留意点を認識する。さまざまなコミュニケーションを実際に行うことによって、コミュニケーションの仕方の違いによる情報伝達内容の変化を認知し、わかりやすく論理的な表現を習慣化する。

・到達目標（SBO）

- 1、「みること」と「きくこと」の種類とそれぞれの違いを説明することができる。
- 2、医療人にとって必要なコミュニケーションについて基本的なことがらを説明することができる。
- 3、正しくわかりやすく情報を伝達することができる。
- 4、論理的な日本語表現で自分の考えを述べるができる。
- 5、相手の自己肯定感を上げるコミュニケーションのポイントを理解し、実践することができる。
- 6、障がい者のコミュニケーションの実態について理解することができる。

・講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	2	文学分野	平林 香織 教授	みることと情報伝達
4/23	木	2	文学分野	平林 香織 教授	きくことと情報伝達

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/30	木	2	文学分野	平林 香織 教授	日本語による情報伝達
5/7	木	2	文学分野	平林 香織 教授	正確な情報伝達
5/14	木	2	文学分野	平林 香織 教授	論理的な情報伝達
5/21	木	2	文学分野	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング1：コーチングの概要
5/28	木	2	文学分野	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング2：相手の話を聴く姿勢
6/4	木	2	文学分野	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング3：相手を認めるメッセージ
6/11	木	2	文学分野	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング4：相手の答えを引き出す質問
6/18	木	2	文学分野 神経科学講座	平林 香織 教授 駒野 宏人 教授	脳とからだの情報伝達 1
6/25	木	2	文学分野 神経科学講座	平林 香織 教授 駒野 宏人 教授	脳とからだの情報伝達 2
7/2	木	2	文学分野	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話1：聴覚障害者のコミュニケーションの実態と手話の構造
7/9	木	2	文学分野	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話2：手話によるコミュニケーションのポイント
7/16	木	2	文学分野	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話3：手話による意思疎通の実態

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	日本語表現法改訂版 21世紀を生きる社会人のたしなみ	庄司達也・山岸郁子ほか	翰林書房	2014
参	はじめての手話改訂新版	木村晴美・市田泰弘	生活書院	2014
推	〈文法が基礎からわかる〉日本手話のしくみ	岡典栄・赤堀仁美	大修館書店	2011

・成績評価方法

受講態度（20%）、課題への取組（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・特記事項・その他

グループワークを中心とした実践的な科目なので受講者の上限を 50 名程度とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示

人間関係論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	相澤 文恵 准教授		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

人間関係は人間としての存在に備わる基本的条件の一つである。「どうすれば好ましい人間関係を築くことができるか。」人はその方法を日々模索し、人間関係を良好に保つためにコミュニケーションを続ける努力をしている。人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に、人は他者に照合することによって自分自身を認識する。また、人は他者の存在によって自分の社会的役割を認識する。他者との関係で構築された人間関係は様々な社会的相互作用の原因となり、また結果ともなる。

人が人に対して行う援助活動では、常にその関係性が基盤に置かれることになる。保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。医療の質や倫理が問われている今、医療人として人間関係のあり方やその特徴を理解しておくことは重要な学習課題である。

良好な人間関係を構築するための基礎を修得することを期待する。

・教育成果（アウトカム）

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、医療人としての職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。

・到達目標（SBO）

1. 自己概念を理解する。
2. 対人認知に関わる要因を説明できる。
3. 社会的相互関係について説明できる。
4. コミュニケーションの構成要素と過程を説明できる。
5. 集団意志決定について説明できる。

・講義日程

西 105 1-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	人間関係とは 人間関係の成り立ちについて理解する。
4/23	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	自己意識 自己意識を豊かにする方法を理解する。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/30	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(1) 印象形成に関わる要因について理解する。
5/7	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(2) 対人認知の歪みに関わる要因について理解する。
5/14	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(3) 対人魅力に関わる要因について理解する。
5/21	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	アイデンティティ 個人的アイデンティティと社会的アイデンティティについて理解する。
5/28	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(1) コミュニケーションの構成要素と過程について理解する。
6/4	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(2) 自分の話し方、聞き方の傾向について理解する。
6/11	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(3) Computer-mediated communication におけるコミュニケーションの正確性について理解する。
6/18	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(1) 集団規範について理解する。
6/25	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(2) リーダーシップについて理解する。
7/2	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(3) 集団意志決定について理解する。
7/9	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	チーム医療における人間関係 チーム医療における医療従事者間の人間関係を理解する。
7/16	木	1	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	まとめ これまでの講義で得た知識と経験をもとに、自らの学生生活における良好な人間関係の構築について考える。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011
推	健康の謎を解く ストレス対処と健康保持のメカニズム	アaron・アントノフスキー著	有信堂	2008

・成績評価方法

定期試験（70%）と提出物（30%）で評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示

学びのための知的技法

責任者・コーディネーター	人間科学科哲学分野 遠藤 寿一 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野		
担当教員	遠藤 寿一 教授		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

この講義では、「主体的に学ぶ」ためのツールである、「クリティカルシンキング（批判的思考）」と「ロジカル・ライティング（論理的な文章作成）」のエッセンスを学び、6年間の大学生活に必要な学習基礎体力の定着を図ることを目標とする。

講義は書き込み式のテキストを用い、毎回、頭と手を動かして課題に取り組み、成果を提出してもらおう。講義対象者としては、他人の言うことをすぐに信じ、人の考えに左右され、自分の考えをうまくまとめられないと感じている人、レポート等の文章の評価があまりよくない人、文章作成に苦手意識のある人などを想定している。

・教育成果（アウトカム）

1. 自分で考え、行動するために必要な思考の「型」を身につけることで、現実の問題に合理的に対応することができるようになる。
2. 自分で考えたことを効果的に伝える表現の「型」を身につけることで、レポート、プレゼンなどで自分の意見を明確に、分かりやすく表現できるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 与えられた情報を鵜呑みにせず、一度立ち止まって複数の視点から注意深く考えることができる。
2. 自分の考えを整理し、読み手・書き手にとって分かりやすい文章を作成することができる。

・講義日程

(矢) 東 206 2-D 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (1) 大学で求められる「考える力」
4/23	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (2) 議論の明確化
4/30	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (3) 隠れた前提

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/7	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (4) 根拠の確かさ
5/14	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (5) クリシンの実践
5/21	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	クリティカルシンキング (6) クリシンの応用
5/28	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (1) ロジライチャートの使い方
6/4	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (2) 主張・意見を考える
6/11	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (3) 根拠をたくさん出す
6/18	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (4) 整理する
6/25	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (5) 文章にする
7/2	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	ロジカルライティング (6) ロジライを振り返る
7/9	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	応用に挑戦 (1) レポート・論文/プレゼンテーション/ ディスカッション
7/16	木	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	応用に挑戦 (2) レポート・論文/プレゼンテーション/ ディスカッション

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	クリティカルシンキング・ロジカル ライティング	楠見・子安・道田	ベネッセコーポレ ーション	2013

・成績評価方法

平常点（提出課題、（書き込み式）テキストの解答内容） [80%] + 筆記試験（到達度試験）
[20%] で評価

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（FAITH Fortission Si35300X/DVR）	1	講義資料作成、他
講義	ノート型 PC（富士通 FMV-BIBLO LooxC/E50）	1	講義資料作成、他
講義	ノートパソコン（富士通・FMVLCE70B）	1	講義資料作成、他

医療と法律（前）

責任者・コーディネーター	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科法学分野		
担当教員	廣瀬 清英 講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医事法学は、比較的新しい学問分野であり、その体系や対象範囲について、これまでのところ通説的な見解があるわけではない。それは、この学問が当初、医師法・医療法・その他衛生法規といった医療制度を定めた法律を体系的に論述する「医事法制」から出発し、専ら医療を提供する医療人側の視点から、その業務と責任のあり方を中心に論じられてきたからである。

しかし、現在の医事法学は、医療を受ける側に基本的視座をおきつつ、人の「生老病死」に対し法がどのように関わりあっているかを考えることが中心になり、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題に対応して「医療過誤」、さらに「生命倫理」などをも視野に入れた「医療行為の法」としての研究が進められている学問である。

本講義では、法学の知識を前提に専門的かつ進歩が著しいことから法体系が複雑化している医療分野について、医事法学の立場から人の「生老病死」に対し法がどのように関わりあっているかを、医療を提供する側の視点からのみならず、医療を受ける側にも基本的視座を置きながら考察する。

また、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題にも対応して「医療過誤」や「生命倫理と法律」などについて概説し、それらを理解することを目指す。

・教育成果（アウトカム）

法と「生老病死」の関わりを理解することで、将来、医療現場において法律問題に直面する可能性があるという意識を醸成する。

医療を受ける側にも基本的視座を置きながら考察することで、医療上の法律問題に関して、保護すべき弱者を覚知する感性と、採るべき解決策とを法的に根拠付ける理性を身につける。

法学などで修得した法的三段論法を用いて、医療と法律の関係を具体的な事例について文章で表現できるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 医事法が目的としていることを学び、具体的事案から「医事法の本質」を養う。
2. 患者の権利、インフォームド・コンセントなど生活の場における医療と法律の関係を理解する。
3. 生殖医療、人工妊娠中絶、遺伝子技術など生命誕生の周辺における医療と法律の関係を理解する。
4. 安楽死、尊厳死、臓器移植など生命終息の周辺における医療と法律の関係を理解する。
5. わが国の薬害の歴史を学ぶとともに、法的対応を理解する。
6. わが国の社会保障法を学ぶとともに、社会保障の仕組みを理解する。
7. 医療過誤訴訟の裁判例から医療と法律の関係を理解する。

・ 講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医事法総論
4/23	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医療における患者の権利(1) 医療行為と患者の自己決定権
4/30	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医療における患者の権利(2) 診療情報と法律
5/7	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医療における患者の権利(3) 人体実験と新薬開発
5/14	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医療における患者の権利(4) 小児医療と精神科医療
5/21	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の誕生と法律(1) 人工妊娠中絶
5/28	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の誕生と法律(2) 生殖補助医療
6/4	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の誕生と法律(3) 遺伝子技術の応用
6/11	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の終焉と法律(1) 治療拒否と自殺
6/18	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の終焉と法律(2) 脳死と臓器移植
6/25	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	生命の終焉と法律(3) 安楽死と尊厳死
7/2	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	薬害事件と法的責任
7/9	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	社会保障法
7/16	木	1	法 学 分 野	廣瀬 清英 講師	医療過誤訴訟

・ 教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医事法判例百選<第2版>	甲斐 克則	有斐閣	2014
参	医事法入門(第3版)	手嶋 豊	有斐閣アルマ	2011
参	ブリッジブック医事法	甲斐 克則	信山社	2008

・ 成績評価方法

- 1.評価は毎回の課題と小テストによって行う。
- 2.但し、出席状況に応じて成績を加減補正する。

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、課題教材を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型パソコン	1	講義資料の作成、提示

医療とスポーツ

責任者・コーディネーター	人間科学科体育学分野 小山 薫 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科体育学分野		
担 当 教 員	小山 薫 准教授、本多 好郎 非常勤講師、高橋 健 非常勤講師、 豊澤 博幸 非常勤講師、内城 寛子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

21世紀に入り、現在、日本人の平均寿命は男性79歳、女性86歳となり、超高齢社会とか老老介護時代といわれています。その背景には、①要介護者が2025年までには600万人以上になる。②廃用性委縮のため、加齢とともに転倒・骨折、要介護者が増加する。③平均寿命の延伸により、高齢者自身が介護にあたる割合が増加して、介護そのものが複雑化していく現状にある。このような現実を直視し、対策を考えることは、今後、医療に携わる者にとっては、大変重要なことである。本講義では、医療分野に必要な運動習慣やスポーツ習慣形成の方法、現場における人間関係づくり、スポーツにおける体力づくり（コーディネーショントレーニング、レクリエーション実習含む）など、健康寿命を延ばすためのプログラムについて総合的な角度から、医療を捉えることを学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

医療における運動づくりやスポーツ活動における体力づくり（プログラム）など、身体活動の重要性を理解、実践することによって、医療人として今後、医療現場に必要なコミュニケーション能力や運動プログラムなどの企画・立案などの行動力、健康観を会得する。

・到達目標（SBO）

- 1.医療における運動・スポーツとの関わりが説明できる。
- 2.医療現場におけるチーム医療を説明できる。
- 3.医療現場におけるコミュニケーションスキルを説明、実践できる。
- 4.生涯スポーツライフにおけるファンクショナルトレーニングを説明できる。
- 5.生涯スポーツライフにおけるストレッチングを説明できる。
- 6.医療現場における自分軸について考え、説明できる。
- 7.スポーツ現場における障害と外傷について説明できる。
- 8.運動時におけるケガの予防法について説明できる。
- 9.高齢者の運動器の機能を把握し、体力測定へ活用できる。
- 10.高齢者の運動プログラムを作成できる。
- 11.高齢者の運動プログラムを実践できる。
- 12.疲労とリラクゼーションについて理解し、説明できる。
- 13.医療現場におけるジェンダーについて理解し、説明できる。
- 14.医療現場における心の健康とハラスメントを理解し、説明できる。

・ 講義日程

(矢) 東 206 2-D 講義室、体育館

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	スポーツライフにおけるスポーツマンシップ
4/22	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場におけるチームビルディングの構築
5/13	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場におけるコミュニケーションスキル
5/20	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	スポーツライフにおけるファンクショナルトレーニング
5/27	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場におけるストレッチング
6/3	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場における自分軸
6/10	水	2	体育学分野	豊澤 博幸 非常勤講師	スポーツ活動における障害と外傷
6/17	水	2	体育学分野	豊澤 博幸 非常勤講師	運動によるケガの予防
6/24	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	高齢者の運動器の機能と体力測定
7/1	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	高齢者の運動プログラムの作成
7/8	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	運動プログラムの実践(体育館実習)
7/15	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	疲労とリラクゼーション(体育館実習)
7/22	水	1	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	月経とジェンダー
7/22	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	心の健康とハラスメント

・ 教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

書籍名	著者名	発行所	発行年
授業で配布する資料を使用する。			

・ 成績評価方法

1.レポート：80%
2.受講態度：20%

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、図書館を利用して事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。
--

・特記事項・その他

講義内容によっては体育館における実習を含むので、トレーニングウェア、体育館用シューズを準備すること。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン(Sony VPCF118FJ)	1	講義資料作成・保管、プレゼン。

実践英語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 ジェイムズ ホブズ 准教授、柳谷 千枝子 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	柳谷 千枝子 助教		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

このコースは、DVD・ビジネスドラマの教材を通じて、実社会で必要とされる総合的な英語運用能力の養成とともに、様々なシーンにおけるコミュニケーション能力の育成・向上を目指す。使用するテキストは、主にビジネス英語が中心となっているが、授業では、グローバル社会で医療人を志す皆さんが習得すべき技能や、能力と関連したテーマのみをピックアップする。

たとえば、将来皆さんは、諸外国の関係者と英語でメール、あるいは電話でやり取りしながら情報交換したり、プレゼンテーションの機会を与えられたり、関係者と食事をする、といった経験をするかもしれない。相手とスムーズな意思疎通を図り、良い印象を与えるためには、その場に相応しい対応や表現、マナーが求められるであろう。

そういった場面で適切に対処できるようになるために、実践的な英語表現や、コミュニケーションに関する知識、方法等を学習する。具体的には、レストランでの接待に関する英語表現、電話表現、自分の意見を明確に伝える表現、プレゼンテーションでの基本表現、英文メールの作成などを取り上げる。

授業の流れとしては、DVD 教材を視聴しながら、徐々にネイティブ・スピードの英語(イギリス英語)に慣れるよう訓練する。次に、聴いたダイアログをペア、グループワークで実際に発音する練習を行う。さらに知識を深めるために、各ユニットで学習したテーマに関するエッセイを読む。最後に、メール文書や履歴書の作成の仕方など、様々な練習問題に取り組み、英語の四技能（Listening, Speaking, Reading and Writing）をバランスよく学習できるよう配慮する。

テキストには自己学習用 DVD が付属しており、予習や、授業の復習、学習内容の定着、Listening の強化の目的にも活用できる。

・教育成果（アウトカム）

意思伝達に関する実践的な英語表現・知識・方法等を学習することにより、グローバル社会で医療人に不可欠なコミュニケーション能力を向上させる上で必要な技能、能力を修得できる。

・到達目標（SBO）

1. 様々なシーンでのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現を習得し、運用できる
2. 英語でメール・履歴書を作成し、プレゼンテーションで用いる基本表現を実践できる
3. DVD を視聴し、ネイティブ・スピードの英語に慣れると同時に、内容を理解・発音できる
4. 実践的な英会話を通じて、快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素を理解できる

・ 講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Introduction Chapter 1: Making Contact
4/23	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 1: Making Contact
4/30	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 3: Dinig Out
5/7	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 3: Dinig Out
5/14	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 4: Can I Ask Who Is Calling, Please?
5/21	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 4: Can I Ask Who Is Calling, Please?
5/28	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 5: Let's Stick to the Schedule
6/4	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 5: Let's Stick to the Schedule
6/11	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 6: Tell Us about Yourself
6/18	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 6: Tell Us about Yourself
6/25	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 10: Today's Topic Is...
7/2	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 10: Today's Topic Is...
7/9	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 12: Any Questions?
7/16	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 助教	Chapter 12: Any Questions?

・ 教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Interactive Business English on DVD	Yutaka Tokuda 他	SEIBIDO (成美堂)	2014

・ 成績評価方法

授業時の参加態度、発話、予習を含む平常点（30%）小テスト（20%）期末試験（50%）の割合で評価を行う。

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・予習復習のポイント

予習ポイント： 学習内容の理解を深め、定着を図るために、必ず一度は授業範囲に目を通し、意味の分からない単語については、あらかじめ調べた上で出席する。併せて、自己学習 DVD で英語を聴く習慣をつけることで、Listening の強化につながる。

復習ポイント： 授業で分からなかった（間違えた）ところ、重要なポイントと指摘された箇所などをもう一度見直す。授業で聴き取れなかった英語をチェックしておき、自己学習 DVD で再確認する。会話表現は音読して、単語の発音やアクセントを確認しながら復習する。回数を重ねるうちに、音読しながら同時に内容を理解できるようになり、また会話表現の言い回しも自然と身に付くため、将来的に様々な場面で応用できる。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (東芝)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (富士通) FMV-N F 40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (Panasonic) R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (Apple) NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (SONY) VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (NEC) PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC (Apple) iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型 PC (Panasonic) CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	iPod (Apple)	5	リスニング、課外自習等
講義	CD /DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ一式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用